

## 群馬大学医学部附属病院の病院長候補者について

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議細則第2条第1項第2号の規定に基づき、学長に推薦する病院長候補者を選考したので、群馬大学医学部附属病院長候補者選考実施内規第7条の規定に基づき、下記のとおり公表する。

### 記

#### 1 病院長候補者氏名

（氏名）	（職名）
田村 遵一 氏	群馬大学医学部附属病院長
山田 正信 氏	群馬大学大学院医学系研究科教授

#### 2 選考した理由及び選考の過程

（選考理由）

別紙1・2のとおり

（選考過程）

- ① 平成30年11月29日（木）  
第1回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
  - ・群馬大学医学部附属病院長選考基準策定  
（URL:<http://www.gunma-u.ac.jp/wp-content/uploads/2018/11/byouinchosenkou.pdf>）
  - ・群馬大学医学部附属病院長候補適任者推薦要項の策定
- ② 病院長適任候補者の推薦受付
  - ・公示日：平成30年11月29日（木）
  - ・推薦受付期間：平成30年12月20日（木）～27日（木）
  - ・推薦受付状況：締切日までに2名の推薦があった。
- ③ 平成31年1月16日（水）  
第2回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
  - ・病院長候補適任者資格等審査
  - ・病院長候補適任者の面談実施方法の審議
- ④ 平成31年1月25日（金）  
第3回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
  - ・病院長候補適任者2名に対する面談の実施
  - ・学長へ推薦する病院長候補者の決定

平成31年2月18日

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議

病院長候補者氏名 田村 遵一

#### 選考理由

この候補者に係る推薦書等の書類は、適任者推薦要項で規定する提出書類に照らして不備がないことを確認した。

病院長候補者選考会議では、群馬大学医学部附属病院長候補者選考基準に基づいて、提出された推薦書等の書類及び面談により評価を行い、以下の理由により、病院長候補者として適任であると考え、第一の候補者として学長に推薦することとした。

- ①現病院長として、一連の医療事故に対してこれまでの4年間、病院長としてリーダーシップを発揮し、改善・改革に真摯に取り組んできた。さらに新たな課題についても把握したうえで、対策に取り組んでいることが評価できる。これまでの改善・改革を評価・検証したうえで、最適化を進めながら継続していこうとする意欲が見られる。
- ②病院の意思決定会議に多職種を参画させたほか、看護師長や医長を構成員とした会議への出席、定期的な院内巡視を行うなど、積極的に現場のメディカルスタッフとコミュニケーションを取り、そこで提案される意見を病院運営に反映させるなど、病院一丸となって病院運営に取り組もうとする意欲が見られる。
- ③病院運営のみならず教育・研究に関する医学部との連携や臨床研究に関する治療システムの構築など、現状の課題を把握したうえで、病院全体の中・長期的なビジョンを明確に持ち、それらに取り組んでいく意欲がある。
- ④群馬県や群馬県医師会などの関係団体と積極的に連携し、県内医療機関も含めて病診連携や、医師の偏在解消に向けた取り組みにも意欲的であり、地域貢献への積極的な姿勢が見られる。

以上が推薦理由であるが、病院長候補者選考会議としては、群馬大学医学部附属病院はこれまで多くの改革・改善を実施しているが、今後はこれまでの取り組みに評価・効率化・改良を加えながら、継続して実行するとともに、医学部との連携によるシームレスな医学教育の充実、臨床研修医を始めとした若手医師の獲得・育成、地域医療へのさらなる貢献などの課題に対しても意欲的・積極的に取り組み、群馬大学及び群馬大学医学部附属病院の発展のために尽くしていただくことを強く要望する。

以上

病院長候補者氏名 山田 正信 氏

選考理由

この候補者に係る推薦書等の書類は、適任者推薦要項で規定する提出書類に照らして不備がないことを確認した。

病院長候補者選考会議では、群馬大学医学部附属病院長候補者選考基準に基づいて、提出された推薦書等の書類及び面談により評価を行い、以下の理由により病院長候補者として適任であると考え、第二の候補者として学長に推薦することとした。

- ①内科系診療科の再編成において主導的な役割を担い、現在も内科診療センター長として内科全体での協力体制のみならず大学院の教育指導体制を構築してきたことや、10年以上前から多診療科によるカンファレンスを立ち上げるなど医療安全面に配慮してきたことは評価できる。自身の研究・臨床における幅広い経験を基に、さらに魅力的な病院とするための意欲がある。
- ②群馬大学の強みである部門等について把握しており、それらを結集し、医学部と附属病院が一丸となって先進的医療の研究開発に取り組む意欲がある。
- ③医学生から研修医へのキャリアプランに沿ったシームレスな教育体制を構築したうえで、医学教育と先端医療研究において地域社会や国際社会に貢献するための大学病院改革に取り組む意欲がある。
- ④地域医療に対して、医師の適正配置対策としての拠点病院化とネットワーク化、初期研修医の確保に向けての具体的な計画があり、それを実行していく意欲がある。

以上が推薦理由であるが、病院長候補者選考会議としては、群馬大学医学部附属病院はこれまで多くの改革・改善を実施しているが、今後はこれまでの取り組みに評価・効率化・改良を加えながら、継続して実行するとともに、医学部との連携によるシームレスな医学教育の充実、臨床研修医を始めとした若手医師の獲得・育成、地域医療へのさらなる貢献などの課題に対しても意欲的・積極的に取り組み、群馬大学及び群馬大学医学部附属病院の発展のために尽くしていただくことを強く要望する。

以上